

## ニコニコ箱

ありがとうございました

- 中江 遵義さん 巨人残念!! 阪神がんばれ!!
- 中山 恒夫さん 本日の臨時総会よろしくお願ひ致します。
- 山本 進三さん 本日の臨時総会、よろしくお願ひ致します。
- 吉田 篤生さん 本日の臨時総会、よろしくお願ひ致します。
- 亀田 直紀さん 10月も終わります。
- 阪神タイガース応援団一同  
アト少しやけどなあ!!

本日の累計 17,000円(計5名 6件)〔お誕生日お祝い 165,000円 皆出席表彰 10,000円 その他 564,200円 累計額 739,200円〕

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R.C.	11月 6日(木)	「新会員自己紹介」
和歌山南R.C.	11月 7日(金)	「星林長期交換学生帰国報告」 2013-2014年度青少年交換長期派遣学生 上辻 あかりさん
和歌山中R.C.	11月 7日(金)	「次年度理事・役員候補者発表」クラブフォーラム「ロータリー財団」
和歌山北R.C.	11月10日(月)	辻秀和ガバナー公式訪問
和歌山アゼリアR.C.	11月10日(月)	例会変更
和歌山R.C.	11月11日(火)	「ロータリー財団月間に因んで」 R.I.第2640地区ロータリー財団委員長 大森 豊さん
和歌山西R.C.	11月12日(水)	「ロータリー財団月間に因んで」 R.I.第2640地区ロータリー財団委員長 大森 豊さん
和歌山東南R.C.	11月12日(水)	例会変更

### 本日の例会 11月6日(木)

- クラブフォーラム「ロータリー財団」
- 卓話 R.I.第2640地区ロータリー財団委員長 大森 豊さん
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
IT COULD HAPPEN TO YOU(J.V.Heusen)  
MOONLIGHT BECOMES YOU(J.V.Heusen)

### 前回の例会 10月23日(木)

- 臨時総会「次々期会長候補、次期副会長候補、次期幹事候補、次期会計候補、次期理事候補選出の方法について」
- ロータリーソング 内畑 瑛造 ソング委員長  
「和歌山東ロータリーの歌」

### 次回の例会 11月20日(木)

- 卓話 自衛隊和歌山地方協力本部  
本部長・一等陸佐 西村 和己さん

### メイキャップ 敬称略

10月31日(金) 和歌山南R.C. 山東 勝彦

出席報告	会員数 42名(内出席規定適用免除会員14名)	10月30日(本 日)	30名/37名	81.1%	皆さん、出席してください。
山東 勝彦 出席副委員長		10月16日(メイキャップ後)	26名/36名	72.2%	

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
創立/1959年2月23日 会報(広報・IT)委員会 瀧川 嘉彦 吉増 亨 伊東 伸夫 林 毅

# 良くしよう! ~ improve our Rotary! ~

## 今できることを精一杯

2014~2015年度 和歌山東ロータリーのテーマ

2014年11月6日(木) 週報/VOL.56 No.18 (通巻2658)

「ロータリーに輝きを」LIGHT UP ROTARY 2014~2015年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ** URL: <http://www.werc.jp> E-mail: [info@werc.jp](mailto:info@werc.jp)

## 会長報告

山本 進三 会長



皆さんこんにちは。

先週、地区大会が無事終了し、3年後のガバナー選出方法が郵便投票にすることが決定されました。

この件については本日の総会後に時間があれば改めて詳しくお話ししますが、長年続いた地区の混乱が収束する方向に向かっていることは確かなようです。本当に良かったと思います。

さて、2日前の朝日新聞に和歌山の記事が掲載されていました。記事の内容は南海地震で9万人が死亡するというネガティブな記事でしたが、一昨日、経済同友会の例会での仁坂知事の説明によると、本当に伝えたかったことは、和歌山県の防災計画がようやく煮詰まり、最悪9万人と予想された死者を5年後には0人にすることが可能になったということを伝えたかったとのことでした。

本当に死者0人にできるかどうかの真偽はともかく、その防災計画が確立されれば犠牲者の数が激減するということでしょうから、本当はポジティブな記事であるはずなのですが、それを伝えるマスコミの解釈次第で全く反対の内容になってしまったようです。

よく「言論の自由」という言葉が殺し文句のように使われ、マスコミの報道を阻害する行為は一切許されないような風潮が当たり前になっております。

しかしながら、「自由」の裏には必ず「責任」がつきまとうものです。「責任」の取れない「自由」はただの迷惑行為であって、私としては、マスコミが報道の自由を唱えるならば、できる限り正確な報道をするべきであると思えますし、報道した結果の責任はしっかりと取っていくべきだと思います。

情報化社会である現在、私たちの身の回りは情報だらけです。だからこそ、情報を発信するマスコミの倫理観が今まで以上に問われるのではないのでしょうか。

本日は臨時総会です。  
皆さまどうかよろしくお願ひいたします。

## 幹事報告

吉田 篤生 幹事



- ・国際ロータリー第2640地区より、2014-2015年度地区大会・チャリティー記念ゴルフ大会の御礼状が届いております。……………回覧
- ・和歌山県より「世界エイズデー2014 in 和歌山」開催のお知らせが届いております。当日和歌山大学には駐車するスペースがありませんので、電車かバスで行って頂きます様お願ひします。……………回覧
- ・JCニュースが届いております。……………回覧
- ・那智勝浦ロータリークラブより、創立50周年記念誌をお送り頂いております。……………回覧

## 臨時総会

幹事より、クラブ細則第5条第3節、第5条第6節によりまして、総会が成立した旨の報告があり、クラブ細則第4条第1節1により、会長が議長を務めます。

クラブ細則第3条第1節に従い、次々期会長候補、次期副会長候補、次期幹事、次期会計及び次期理事候補5名の選出について、「推薦制」による選出か「投票制」による選出かを諮り、「推薦制」と決定しました。

### 地区大会報告

### 山本 進三 会長

先週(10/25,26)に開催された地区大会は、2640地区の歴史に残る意義のある大会でした。特筆すべきは、長い間開催されることのなかった「選挙人会議」が開催され、公平な会議進行の元、3年後(2017-2018年度)のガバナー選出方法が決定されたことです。

### 選挙人会議開催の背景

皆さまもご承知の通り、今回選挙人会議が開催された背景には、近年続いている地区と地区内の各クラブとの争いがあります。

本来であればガバナーが替われば、その様な騒動はすぐに収束するはずなのですが、米田ガバナーの時に決定したガバナー選出の方法、いわゆる「指名委員会制」がその後のガバナーに対しても不信感を抱かせる原因となっています。

本来、この「指名委員会」はガバナーの候補者がなかなか見つからなかった近年の2640地区において、迅速に次のガバナー候補者を定める手段として考えられましたが、あまりにも現ガバナーに都合良くノミネーを選出できるようになっているため、選ばれた次のガバナーは前ガバナーの傀儡政権であるかのよう誤解され、引き続き不信感を持たれるようになりました。

この事が地区の争いを長期化させている元凶であると考えたのです。

### 選挙人投票から選挙人会議へ

今回の選挙人会議の大きな目的は、この指名委員会によるガバナー選出方法を取りやめ、郵便投票によって選出することを審議することでした。

しかしながら、辻ガバナーは現在の指名委員会制を変更する必要はないと考えていました。

指名委員会があくまでガバナー候補者が見つからないときの手段であって、決められた期間中に各クラブから推薦者を出せば、わざわざ指名委員会を開催する必要もなく次のガバナーが選出されるからです。

ですから当初はガバナー選出方法について審議する「選挙人会議」を開催するつもりもなく、替わりに地区賦課金を採決する「選挙人投票」を行うと共に、今後の課題として選出方法を討論する予定でスケジュールを立てていました。

ところが事態は、地区大会直前の10月22日に一変しました。小沢一彦RI会長特別代理の指示により、急遽、選挙人会議が開催されることになったのです。

これはいわゆる「地区を正常化する会」の働きかけによってなされた成果でしたが、なにより他の地区では地区大会で必ず選挙人会議を開いているという事実もありました。

### 公平な会議の進行 -ロバート議事法-

地区大会当日の選挙人会議では、会議の進行を公平にするため、ロバート議事法が採用されました。このロバート議事法はJC(青年会議所)などでも利用されている会議の進行方法ですが、今回のように本格的に実施された会議はおそらく数少ないと思えるほど厳格に行われました。

まず会議を開催するにあたり、この会議が有効であることを確認するため、辻ガバナーの出席を求めました。辻ガバナーは当時、同時開催している本会議に出席しており、出席できないのであれば開催者とし

て全権を代理人に委任することを選挙人会議の場で述べてほしいとの多数の要望があり、会議は当初から5分ほど中断しました。

その後、辻ガバナーが現れて、山崎代表幹事に全権を委任すると宣言して早々に退席しました。

次に選挙人会議を開催するにあたり、定足数の確認が始まりました。本来、何の問題もなく進むはずでしたが、ここで1つ問題が起きました。10月7日に発足した新しいクラブが出席していたのです。

このクラブに投票権を与えるかどうか、地区大会の案内が発信された9月には存在しなかったクラブが参加できるかどうか論点になりましたが、結局、議決権は与えられませんでした。

次は議長の選出です。当初、地区役員は山崎代表幹事を議長に指名する予定で進めようとしたのですが、出席者からの動議により改めて議長の指名があり、議長を指名する採決がなされました。その結果、和歌山RCの木綿紀文副会長が議長として選出されました。

木綿議長はロバート議事法に則って会議を進行し、副議長を指名すると共に議事録作成人、議事録署名人、そして会議の進行をお手伝いする方々を指名しました。

(ちなみにその時、私は議事録署名人に選ばれました。)

ここでまた問題が起きました。議長には議決権があるかどうか、「憲法では議長は議決権がない」と主張する方が現れたのです。

これも議論になり、最終的に採決を取って議長にも議決権があるということでまとまりました。

進行はいよいよ議件の確認に移りました。

当初、地区から上程された3つの議案以外に「地区大会の賦課金について」も議件に追加され、その他、あえて決議する必要のない、いわゆる「……に感謝する件」などの議件6件や「2013-2014年度 監査済み財務報告を採決する件」なども追加されました。

また議件の順番も、最重要の「ガバナー選出方法について」を最優先し、次に「地区賦課金」、「地区大会賦課金」の順番で行うことになりました。

これまでの流れを見てもお分かりのように、本当に一つ一つ丁寧に、省略することなく行ったので、実際の議件に入ったときには、すでに1時間を経過しておりました。

進行が途中で二転三転したり、採決を何度も取り直したりしたのが主な原因でした。

私も正直、早く進めてほしいと手に汗を握りながら、無事に会議が進行することを願っておりました。

議件に入ってから話は比較的スムーズに進み、約9割の70を超える賛成を得て、2017-2018年度のガバナー選出方法が郵便投票によることが決まりました。

その後、付帯動議として1ヶ月以内に実行するという動議が取りあげられ、賛成多数で承認されました。

その後の議件も比較的順調に進み、地区賦課金(12,000円)も賛成多数で承認、地区大会賦課金については、地区内クラブ会員全員から一律3,000円を徴収し出席者からは登録料として8,000円をいただくことになりました。

最後の議件、「2013-2014年度 監査済み財務報告を採決する件」については資料もなく審議されたため否決されてしまいました。この後、この議件をどうするのかは不明です。

以上、非常に長々とした会議でしたが、少しは会議の雰囲気がお分かりいただけたでしょうか。個人的に、今回の選挙人会議に参加したことについて、本当に貴重な経験をさせていただいたと思っております。

これを契機に2640地区の争いが、近い将来、終息することを期待します。

ありがとうございました。